

第4回あおもり立志挑戦塾

平成 25 年 8 月 31 日(土)~9 月 1 日(日) 星野リゾート青森屋(三沢市)

□天明塾長挨拶 「運が味方する生き方」

前回、人間力診断をしていただきました。知識・技能・体力とは職務能力の面。下の基準行動・価値観・人間関係・家庭生活・目標・社会貢献は人格能力。これが人間力の総体であるという捉え方をしたわけです。

知識の平均点数、ここはすごく低かったところです。しょうがないんです、まだ経験が浅いしね。業務知識とか経営・管理の知識が下がるのはしょうがないところですが、一般教養は2が10人いるでしょう。ここは身に付けていかななくちゃいけない。本を月に2~3冊、どんなジャンルでもいいから読んでほしいですよ。本って人の人生のお裾分けをいただくことだから、本を読みながら人の人生を「ああ、なるほど。自分の人生は1回しかないわけだ。でも、本を読めば他の人の人生を研究することができる。」どうか、知識はしっかりと蓄えてほしいと思います。

基準行動、挨拶・返事・約束、この辺はいいですよ。ところが、計画、整理整頓、出勤時間が弱い。特に若いうちは、整理整頓、出勤時間でトップグループに入っていることは絶対条件だと思う。朝を制する者はビジネスを制するという言葉がある。朝を制する者は人生を制すると言い換えてもいい。

この間、うちの大学院のゼミ生を連れて千葉県大網白里町の大里総合管理というところに見学に行っただけです。その会社は毎日1時間、清掃をやっている。そんなに広くはないんだけど埃1つ付かない。徹底して掃除をしている。ここの社長が何を言っているかというのと、整理整頓、清掃、そこでは環境整備という言い方をしています。何のために徹底して、毎日環境整備をやっているか。気づきの人間になる。それが目的なんですって。

価値観・人間関係、まあまあ、いいところにいます。家庭生活、ここは平均でも4がほしいと思うところ。一番大事なところなので、ここは後でお話をします。目標、相対的に低いところ。社会貢献のところは、まあまあしょうがないかなと思います。

今は全体傾向を見ました。もう1つ、自分の点数の中で5が何割占めているか。謙虚に4を付けている人がいっぱいいるから、それはそれでいいんだけど、自分が絶対の自信を持っている、これは5だ、そういう秀でた項目を6割以上持つてほしいと思います。得意領域をしっかり持つ。断トツ1位というのを持つ。これはすごく大事なことだと思います。

1枚目に戻ります。2番目、八種の人間関係。真ん中に自分を置いて、両親、子、親戚・兄弟、配偶者、師、

友人、地域社会、職場。どんな人も、この8つの人間関係の中で生まれ育って今に至っている。8つの人間関係の中で、感謝の気持ちが強い人。感謝の気持ちが強くて、ありがたかったな、進んでお返しをさせていただく。そういう気持ちの強い人ほど人間力は高まっていく。両親なんか言うまでもないことだよ。両親や配偶者だけではなく、恩師、親戚・兄弟、その恩感力というのが今日のタイトル、今日お話をしたいのはここなんだわ。人間力というのは恩感力とものごすごいつながりがある。

感謝、恩を感じる力です。生んでいただいてありがとう、育ててくれてありがとう、教えてくれてありがとう。仲間としていろんなことを協力してくれてありがとう。これなんです。この八種の人間関係の中で恩感力を感じていく、お返しをしていく、その気持ちが職場の中で、これは会社なんです、一番真ん中が会社、内部留保と書いてあるけれども会社。会社と6つの利害関係集団。ステイクホルダーと言います。企業というのは6つの利害関係集団に取り巻かれている。これらの信頼関係が強くなる企業がいい会社になっていく、強くなっていく、社会に貢献できる会社になる。これは間違いないですよ。

福岡県のバグジーというパーマ屋さんを知っている方、いらっしゃる？お得意さんに徹底して満足を提供する。満足から感動を提供する。仕入れ・外注先にも、従業員にも、金融機関にも、公共機関にも、株主にも徹底して満足を与え、そこから上の感動をどう提供していくか。ここだけをこの会社は真剣にやっている。例えば、お客さんが来て「うちのおばあちゃんさ、この間、がんが見つかったって、すごいしょげちゃっているの。ハワイは行きたいと言ってすごい楽しみにしていたんだけど。」なんて、パーマをやってもらいながら娘さんとお話をしていると。「ああ、そう。分かった。今度一度うちに来て。元気づけるから。」おばあちゃんが来ます。すると、会社をあげておばあちゃんを歓迎するわけだ。椰子の木を植えて、ホームセンターから砂利を買ってきて、白い砂利をこうしてハワイの格好をして、女の子は皆、フラダンスの格好。音楽はハワイアンムード。多分、10時頃に来るから午前中は皆これでやろう」と、ハワイアンムードの中で朝からパーマをやるわけ。「いやあ、私が行きたかったあのハワイがここにあった」もう感激して帰る。そのおばあちゃんは3ヶ月後に亡くなるんだけど、一人ひとりのお客さんに徹底してそういう満足の提供をやっている。一事が万事、徹底してそういうことをする。

とにかく、この6つの人間関係に対して、いただいた以上の満足を与えていく。発展していくというのは、いただいた以上に、期待した以上に与えていく。こういう会社が発展していきます。それは人間関係も同じ。

4番目、人間力の根元は、両親への恩意識なんです。当たり前で感謝できることが一番大事なことだと思います。まず生まれてきたことに感謝。その生まれ出してくれたお父さん・お母さんに感謝。どんなことがあっても、まずこれは欠いてはならない。それが原点。

(2) 一人で生まれ、一人で育った人は誰もいない。子がいなくても親のいない人はいない。生んでいただいて、育てていただいてありがとう。その気持ちが強い人ほど正義感が強い、行動力が高い、人の気持ちが分かる。協力しよう、努力をしようという気持ちが強い。それに対して、感謝の気持ちが薄い。むしろ憎んでいる。そういう人ほど情が薄い。何かあった時に躓きやすい。そうなんです。ずっと経営コンサルティング、仕事の中で痛切に感じていることです。

(4) 恩意識の広がり。生んでいただいて、育てていただいて、教えていただいて、働かせていただいてありがとう。その感謝の気持ち、恩返しを少しでもさせてください、それが社会に広がっていく社会貢献の心です。

(1) 両親、先祖に喜んでいただく。先祖って、お父さ

ん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんからもらったものが全て。自分の全ては自分から上にあるわけだよ。それが先祖。自分が何か志を持ってやろうと思ったことを、先祖が応援しないはずがない。その具体的なお返し行動として、(1)の①両親に贈り物をする、食事を共にする、一緒に旅行をする。②感謝を言葉に出す。手紙で伝える。もし亡くなっていけば、仏壇にご挨拶、お墓参りを欠かさない。お父さん・お母さんに喜んでもらう、言葉をかける、一緒にその時間を過ごす。

結婚されている方は、(2)夫婦仲よし。夫婦で「ありがとう」「ごめんなさい」「おはよう」「おやすみなさい」言うんだよ。

6番目、感謝の言葉を出し続ける。「おかげさま」「ありがとう」「もったいない」「ごめんなさい」、いい言葉を使っていこうよね。特に身内でのコミュニケーションをしっかりと、恩返しをしていく。それが必ず会社だとか恩師だとか職場仲間だとかに広がっていきます。それが職場で今度はお得意さん、仕入れ先、外注先に広がっていく。それが社会貢献の原点ではないだろうか。こんなふうに思いまして、先月の人間力診断のまとめとさせていただきます。

終わります。ありがとうございました。

□講話

講師 野土谷 泰大 氏 ((株)エヌアンドエストラスト代表取締役)

題名 「私の起業体験」

5年ちょっと前は、私もそっちに座っていました。人生の中で一番どん底の時でした。

中学を卒業し、高校へ進学する時、「うちは大学まで行かせる金がないから、高校出たらちゃんと働けよ」ということだったので、工業高校に行きました。そこで、地元企業とタイアップして研究をすることになります。学生の身分でありながら、仕事の人と関わるような機会を得て、すごい刺激をもらって学校生活を過ごしました。

卒業して就職することになります。ここが自分の人生の大きな岐路になります。県外企業に行くのか、地元に残るのか。すごく悩みました。出した答えが地元に残ることでした。青森で何かやってやろうという気持ちがどこかにあったんですよね。ソフトウェア会社で、本当に大変でした。でも、楽しかった。小さい自分を必要としてくれる会社、どんな苦しいこともできました。

ちょっと良くなってくると、また違う岐路が現れてきます。その会社はオーナーの下にシステム開発会社、広告代理店、旅行会社などがあって、いろんなものかじってみたくて、いろんな部署で仕事をしました。「仕事って面白くないな」って思っているうちに、ふと頭に浮かんだものがありました。「社長、こんなことをやってみたら、新しい収益が出るんじゃないですかね。」とか。そうしたら、「いや、

考えが甘い。練り直してこい。」と。練り直して、また出します。1年くらい続けているうちに自分でやりたくなくなってくるんですよね、それで社長に相談しにいきました。社長は止めました。でも、どうしてもやりたくて会社を辞めました。その事業計画書を片手に会社を創ることになります。



平成16年に合資会社エヌアンドエストラストを設立しました。事業計画書を持って銀行に行きました。一蹴されました。1ヶ月くらい銀行とのやりとりがありました。最終的に「事業計画は分かった。担保ってあるのか。」という話になりました。愕然としました。自分の計画に酔って、裏付けのない勇気のもとに銀行に借りに行ったわけです。もう、大失敗です。ただ、熱意を見ていた人、最終的に僕の家にあった人なんです。その人が銀行に働きか

けてくれたり個人的に支援をしてくれて、融資を受けることができました。

実際にやり始めます。事業計画どおりに仕事って進まないんですよ。思っていた顧客がちゃんと獲得できなかったりして、借りたお金もどんどん減っていきます。そのプレッシャーの中でもがんばり続けていたら、思い描いていた仕事が動き始めます。始めた時に年商1600万くらいの会社がたった3年くらいで、6800万くらいの年商を得るくらいまで成長していきました。その頃の私というのは、「ほら、見たことか」です。

お金が回ってくるといろんなことをやりたくなってくるんですよ。自分のやることは絶対にうまくいくんだという意味の無い自信の下に日々を過ごしていました。自分の会社が大変なことになるなんて思ったこともなかった。ところが、良くないことって起きるんですよ。取引先の倒産から始まりました。契約書もないのに数百万とか数千万のお金を動かすような仕事もしていました。別の事業部でやっていた事業も、法律の改正等で圧迫を受けて、事業を閉めざるを得なくなった。投下した資金が全て回収できないような事態に陥ります。借金の保証人にもなっていたんですね。その相手先も良くなってしまって、私が背負うことになりました。

自分は何者なのか、あなたの会社は何なのかということもはき違えて、儲かれば何でもいいやって。会社の内部留保をこれだけ残しておこうかと思ったこともなかったです。良い時に備えをしておかなかったのも、お金も資産も何も無い。自分は本当にバカ者で、人の話を聞く人間じゃなかったんですよ。いっぱい助言してくれる人がいたんですけど、聞かなかったんですよ。自分が情けなくなって。そんな時に家内の一言。「まず社員のことをしっかり考えなさい。社員にちゃんと会社の事情を説明しろ。」と。その後、「これを機会に勉強さねばダメだよ。今だから言うよ。人の話を聞く人でなかったから言わなかったけど。今だったら聞けない？勉強した方がいいよ。まだ間に合うから勉強をした方がいいんじゃないか」それで最初に来た勉強会が立志塾だったんですよ。立志塾に来た時も恥ずかしいんですよ。来る方は志が非常に高く、その中で私はボロボロなわけですよ。ただ、立志塾に入って最初に感じたのが、みんな仕事ではなく夢の話をするんですよ。「青森、こうなった方がいいんじゃないか？」とか、「今の世の中をこう思う」とか。塾に行くたび、行くたび、私も感化されまして、志という言葉に行き当たったんですね。

今まで、自分がやってきた仕事というのは、いっぱい稼いで税金を落とせば世の中のためになるんだっていうくらいの気持ちしかない。志、自分が何のために生きているんだとか、何を思って仕事をしているのかとかという話を、立志塾に来て思い出したんですよ。

自分は将来生きる上でどうしなければいけないかって考えた時に、自分の浅ましさ、さもしい心、ただ金を稼げば

いいとか、成り上がってやるっていう気持ちで商売をして、感謝の気持ちを本当に忘れていたなって。本当に自分の今までの人生というものを反省して、きちんと勉強しようって腹をくくったんです。

勉強をしていく上で大事なものは、やっぱり計画なんですよ。確かに原動力としての思いというのは大事なんですよ。向上心は非常に大事です。ただ、思いだけでやってしまうと、私みたいになってしまうんですよ。

まず聴くことなんですよ。心を持って聴けということも勉強しました。人の話を聴けないと勉強はできませんよね。本もそうです。そこに書かれている言葉は生きているんですよ。それを読んで勉強するということは本当に大事。大人になってから初めて勉強をするということも学びました。勉強するというのは自分のためでもあるけれども、関わる全ての人のためになります。勉強で何をしなければいけないか、計画ですよ。自分は将来どうなりたいたいのかというものがある以上、不測の事態に陥っても、こうなるんだというものがあれば、頑張ろうという指針になるはずなんですよ。

そして、私が勉強をしたもう1つの大事なことは、自分を愛するという事です。自分の行動に自信を持って、自分自身をきちんと評価してほしいんです。私は、自分を失わないために、毎朝毎晩、仏間に入って、ご先祖様に挨拶をするようにしています。

ようやく会社も健全化してきました。私は今、自分の志として、何でこうやっているかという、そもそも就職をした時に地元で頑張るんだ、青森を良くしたいんだという気持ちをもう1回認識したからなんです。やっぱりその志は曲げない、自分の計画だから。

これからまた失敗するかもしれませんが、何があるかわかりません。それでも私は、多分次は逃げないでしょう。なぜか、その結果を果たしていくために頑張ろうという気持ちに今はなれるからです。

普通、こういう自分の失敗談とか話しませんよね。考え方で人って変わるもので、この失敗談を話して、他の人が失敗してくれないことが私を支援してくれた人への1つの恩返しなんじゃないかと思っているんですよ。あの時から考えると、今、こうやって話ができていることが本当に不思議だし、感謝だし、幸せです。

今年の1月に新しい会社を立ち上げました。AOMORI ロジステックという、青森県の農業の6次産業化をめざすコンサルティング会社です。青森県って原料供給県だということをご存じでした？ナガイモ日本で一番とか、ニンニク一番とか。ただ、実際、ニンニクで一番儲けているのは九州の会社です。彼らはニンニクを加工して年間500億円以上の市場を握っています。青森がちょっとアプローチを変えたら、500億までいかなかったって、今50~60億の市場が100億になるんじゃないかなど。何か何かを掛け合わせることによって地元の商品がもっと輝くんじゃないかっ

て。そういうコンサルティングをしています。

計画は失敗しないための計画ではなく、成功するための計画です。自分の今までの経験で学んだものを通して、一步一步進んでいくことが私を助けてくれた人への恩返しだと思います。

私は60歳で現役を引退します。会社も株主総会で交代してくれればいいです。引退をした後は、起業家のための財団を創りたい。起業をしたいという人いっぱいいると思うんですよ。そういう人に人、物、金の資源を与えられるような財団を創ることが私の最後の夢です。

私にはこれからいっぱい苦勞が来ます。今は思えないようなことがいっぱい来るはずですよ。何でもかと言ったら、大きいことを考えているからです。自分の夢に対して事象は比例して起こってくるはずですよ。自分は将来、そうして最後自分の生まれた地域に貢献する企業を残して終わって決めていますから、どんなことがあっても「試練だ。これ乗り越えねえと財団を創れねえんだな」っていうくらい思って日々を今、頑張っています。

そろそろ時間ですね。ご静聴ありがとうございました。

【質疑】

(塾生)

I Tの仕事を通して実現したいと思っている社会とか自分が目指している社会、めざしているビジョンがあったら教えていただきたいと思います。

(野土谷さん)

うちのビジョンは技術の確保です。有能な人間は中央に行きますから、有能な技術者やI Tに関わる技能をここに残しておくための仕事を創ることがまず第1です。地元で有益な技術をきちんと残すということが自分の会社が地域に貢献できることだと思っています。

(塾生)

人を採用する際に気をつけていることとか見ている点がありましたら教えていただきたいと思います。

(野土谷さん)

私は一番重視しているのは人間性です。倫理です。我々情報産業は個人のデータに関わるのが非常に多い職業です。最終的にセキュリティではなくて、その人間の気持ちに関わってくるんです。なので、一番重視をしているのは面接です。

(塾生)

人生のどん底から上がってくる転機になったきっかけとか、そういう思いがあれば教えていただけますか。

(野土谷さん)

立志塾に来て志を学んだというのも1つの要素ではありますが、でも決定的なものは家族の支えでした。それまでは、稼いでくる人間が強いんだみたいな考え方だったんです。1回ぺちゃんこになって話をするようになってから、意外に俺のことをよく考えてくれていたりとか、思ってくれて

いたということが分かって、話をするようになりましたよね。それが1番の支えです。

(塾生)

お仕事と家庭で日々習慣化されていることですか、気をつけていらっしゃる、ありましたら教えていただけたらと思います。

(野土谷さん)

人間の基本ベースというのは家庭にあると思っっているの、家庭で何が起きているのか把握をすることから始めています。そのためにコミュニケーションなんです。挨拶は絶対に欠かせません。もう1つ、必ず月曜日の朝は家族会議です。皆、働いているので、スケジュールが合わないんですよ。何をやっているかってきちんと把握しておくようにしています。

(塾生)

野土谷さんは自分の人生の計画というのを今、作っているとおっしゃっていました。31年間生きてきた中で点数を付けるとしたら何点ぐらい？

(野土谷さん)

100点です。今、自分がここに立っていることに全く悔いはないです。悪い方も今の自分を形成するために非常に大事なことだったと思っています。今まで歩んできたことに意味のないことはなかったですし、今、生きていることに関して最高に幸せです。なので100点です。

(塾長)

自分はずごく大きな仕事にチャレンジをしていく。その大きさに比例して困難が待っているんだというお話がありました。すばらしい言葉だなと思って私は感銘を受けたんですが、多分、そうなんだと思いますね。何もしない人は、別に何も起きてこないのかもしれないし、それなりに自分の志の大きさに比例して困難が応援してくれる、こんなふうに感じて聞かせていただきました。

今日は本当にありがとうございました。



□グループディスカッション

テーマ：「10年後、自分が起業するとしたら、どういうビジネスをするか。」